

「水場遺構」の系譜に関する一考察 -縄文時代から
平安時代までの「水場遺構」の比較研究-

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/2949

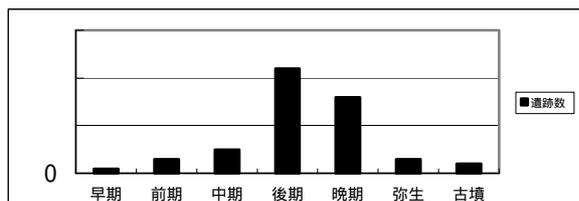
「『水場遺構』の系譜に関する一考察 縄文時代から平安時代までの『水場遺構』の比較研究」

平木 克幸

縄文時代の「水場遺構」については、地域的な特色や時期的なことに関してあまり研究がなされていない。また縄文時代の「水場遺構」と、弥生時代以降の「水場遺構」の比較研究はあまりなされていない。そこで本稿では、縄文時代から平安時代までの「水場遺構」の集成、整理を行い、系譜は存在するのかを明らかにすることを目的とした。

「水場遺構」の整理の結果、縄文時代には地域的な機能の差異が存在すること、縄文時代を通して多種多様な機能が想定されることなどを指摘した。

集成と整理を基に「水場遺構」の系譜を調べた結果、貯水や排水、水さらしなどの面で効率的であるという理由から、木組みの形態が残っていたことを想定した。機能について系譜を調べた結果、縄文時代の実用的な面を受け継いだ「水場遺構」と祭祀的な要素を受け継いだ「水場遺構」の二種類の系譜をたどることができることを指摘した。



「水場遺構」が検出された遺跡数